



いっば先行く体験を

札幌市ジュニアリーダー

札幌市ジュニアリーダーになると、札幌市の行事や地域活動・子ども会など、いろいろな場面で活躍するチャンスが広がります。



～より健やかに よりたくましく生きるチカラを～

子どもの成長には、大人も含めた年齢の異なる人たちとのさまざまな体験と交流が欠かせません。ジュニアリーダー研修会では、異なる年齢の人達のグループ活動を通して、社会性・協調性・自主性を養い、リーダーシップを発揮できる力を身につけるなどのカリキュラムが組まれています。毎年継続して学ぶことで、段階的に「人と話す力」や「グループをまとめる力」などを身につけていきます。

.....令和4年度.....

全国子ども会連合会表彰・指定都市子ども会連絡協議会表彰

長年の活発な子ども会活動の実践とその功績が讃えられ受賞されました。おめでとうございます。

全国子ども会連合会表彰	指定都市子ども会連絡協議会表彰
○団体：若駒子ども会・活動歴49年 (厚別区・代表：佐々木富美枝氏)	○団体：はらっぱ子ども会・活動歴33年 (清田区・代表：石川孝子氏)
○個人：山澤 恭子氏 (手稲区・活動歴28年)	○個人：高橋聖子氏(中央区・活動歴27年) ◇：佐藤欣一氏(北区・活動歴23年) ◇：下村勝子氏(厚別区・活動歴27年)

おしごと体験

左官職人・盲導犬訓練士

令和4年7月18日(月・祝)

協力・連携：一般社団法人札幌建設業協会、札幌市南区、札幌左官工事業協同組合、公益財団法人北海道盲導犬協会

ピカピカ土団子を作る左官職人の体験では「難しかったけど、コツを教えてもらって完成した。うれしかった」、盲導犬訓練士の体験では「自分も人のためになる仕事がしたいと思った」などの感想がありました。



ドローン操作・パワーショベル操作体験・測量機器による宝探し・3D宝探し体験

令和4年7月26日(火)

協力・連携：一般財団法人札幌建設業協会、札幌市南区、岩田地崎建設株式会社、株式会社田中組

ドローンなど最新の機械操作を体験し、測量の仕方やAR建設の技術を学びました。「建設の仕事がしたい!」「色々な機械を使うことができてうれしかった」などの声がありました。



あこがれのおしごとを体験できるチャンス! きみの夢をかなえよう!

芸術デザイン



令和4年8月1日(月)

協力・連携：学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校

北海道芸術デザイン専門学校において、イラストレーター・グラフィックデザイナー・フラワーデザイナー・インテリアデザイナー・Webデザイナーの5つの体験を実施しました。

看護医療



令和4年8月7日(日)

協力・連携：学校法人滋慶学園

札幌看護医療専門学校において、看護師・歯科衛生士・臨床工学技士・視能訓練士の4つの体験を実施しました。

2022

さっぽろ夢大陸 大志塾

～開拓の村でナゾ解きに挑戦～

令和4年8月27日(土)、9月3日(土)、10日(土)、24日(土)

協力・連携：北海道開拓の村(一般財団法人 北海道歴史文化財団)

北海道開拓の村で北海道の今と昔を知るウォークラリーを行いました。全問クリアを目指し、チームで協力しナゾ解きに挑戦。北海道の文化や昔の道具の使い方などを学び、目標達成に向けてチームで取り組みました。



食育体験塾 おうちでバケツ稲づくり

協力・連携：一般社団法人全国農業協同組合中央会、
JA グループバケツ稲づくり事務局

令和4年5月～10月

5月から10月までの半年間、バケツを水田にして種もみの植えから収穫までの稲づくりを体験しました。農業の喜びや大変さを身近に感じ、食育を学ぶ貴重な体験となりました。

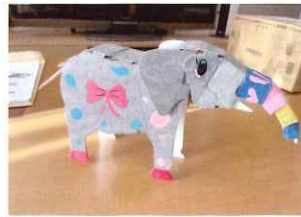


まるやま ZOO TIME ～絶滅の危機にあるアジアゾウ～

協力・連携：札幌市円山動物園、札幌市環境局（環境都市推進部）

令和4年6月27日(月)～8月12日(金)

動画でアジアゾウのくらしや生態について学び、円山動物園を見学。絶滅の危機にある動物のためにどんなことができるのかを考えました。またゾウのダンボールクラフトにも挑戦しました。



チャレンジキッズフェスタ ～zoomを使ってなぞ解きをしよう！～

令和4年9月11日(日)、18日(日)、19日(月・祝)

各家庭で zoom の簡単な使い方を学び、画面越しに自己紹介をしました。クイズやなぞ解きにも挑戦し、zoom の楽しさを共有しました。「また zoom をやってみよう」「クイズや自己紹介が楽しかった」などの感想がありました。



エネルギー塾 ～風の利用したクリーン発電～

協力・連携：札幌市環境局（環境都市推進部）
コスモエコパワー株式会社

令和4年9月20日(火)～10月17日(月)

動画で再生可能エネルギーについて学び、石狩湾新港風力発電所で風車を見学し、LED が光る風力発電工作に挑戦しました。



みんなの☆ユニバーサルデザイン ～すべての人にやさしいデザイン～

協力・連携：北星学園大学、北海道運輸局

令和4年9月20日(火)～11月7日(月)

動画でユニバーサルデザインとは何かを学び、北星学園大学構内のユニバーサルデザインとバリアフリーを体験しました。また弱視体験めがね工作で弱視の見え方を体験しました。



2023 私たちのまちのカレンダーづくり

協力・連携：各区役所市民部

令和4年6月～令和5年1月

市内の小学1・2年生と、そのご家族を対象に「2023の目標」「将来の夢」「私のまちのすきなところ」「こんなまちになったらいいな」の4つのテーマから一つ選んで絵や文字を描いて頂き、集まった作品で「モザイクアート」のカレンダーを製作しました。10区のキャラクターも登場した、「2023私たちのまちのカレンダー」は参加者と札幌市内の小中学校にお届けしました。



シマエナガを守ろう！～気候変動とSDGs～

協力・連携：北海道大学大学院環境科学研究院、旭山森と人の会
札幌市環境局（環境都市推進部）

令和4年12月19日（月）

～令和5年1月12日（木）

北海道に住む鳥「シマエナガ」の生態と住み続けられる自然環境について動画で学び、シマエナガの工作をしました。これからの地球環境を考える機会となりました。



ふしぎ☆ おどろきサイエンスキッズ

～空気のふしぎ～ 協力・連携：札幌市青少年科学館

令和4年12月19日（月）

～令和5年1月24日（火）

空気のふしぎを動画で学び、ペットボトルを使った実験や空気砲作りに取り組みました。「目には見えないけど空気の力がすごいことがわかった」「実験が楽しかった。

ふしぎなことがいろいろあった」などの感想がありました。



北の海を守ろう～北海道の魚～

協力・連携：サンピアザ水族館（株式会社札幌副都心開発公社）
札幌市環境局（環境都市推進部）

令和4年12月19日（月）

～令和5年1月24日（火）

動画で環境問題と生き物との関わりを学び、サンピアザ水族館を見学し、SDGsの「海の豊かさを守ろう」について考えました。

また、紙皿と割り箸を使った魚のペーパークラフトに挑戦しました。



外国の生活文化

～札幌市国際交流員から学ぼう～

協力・連携：公益財団法人札幌市国際プラザ（多文化交流部）

令和5年1月10日（火）、12日（木）

zoomを使用したオンラインで、韓国とドイツの生活や文化などについて学びました。国際交流員の方から、挨拶やクイズ、工作などを教えて頂き、他国の文化と魅力を知る機会となりました。



豊平川びっくり塾 ～水辺の生き物探検～

協力・連携：札幌開発建設部 札幌河川事務所
札幌市豊平区さけ科学館

令和4年6月27日(月)
～8月12日(金)

川に住む生き物について学び、川の水質調査やペーパークラフトに取り組みました。



自分らしさが伝わる ～自己紹介講座～

講師：株式会社ヒト・ラボ 代表取締役 村本 麗子氏

令和5年1月21日(土)、22日(日)

伝えたい内容を表現する話し方の講座を、zoom を使用し、オンラインで開催しました。自己紹介のコツや伝え方を学び、参加者からは「学んだことを活かして、自信を持って面接に臨める」などの感想がありました。



子どもの体験活動の場 Co ミドリ



【令和4年度の事業紹介】

これまでよりさらにダイナミックにのびのびと遊べる空間になりました。一度遊びに来た子は、Coミドリの魅力にはまり、何度も来館し、「やってみたい」ことに挑戦しています。プレーパーク利用者が40名を超える日が増え、時には150名以上になることもあります。令和2年度の利用者は2,780名でしたが、令和4年12月末時点で15,656名まで増えています。じゃがいもを収穫した日にポテトチップにして食べるイベントや、スノーキャンドルを作る日に、温かい飲み物を飲める「わくわくかふえ」も開催しました。月に5～6回イベントを実施し、子どもたちの「これがあったらいいな」を取り入れてきました。また、9月には区制50周年記念南区芸術祭の子ども向けイベントを、開催することができました。みんなで踊った「ツバメダンス」はテレビで放送されました。子どもや、保護者、地域住民にとって安心できる環境を作り、子どもたち一人ひとりに寄り添うことを心掛けてきた一年です。

子どもたちに「ここに来たら成功するまで何回もチャレンジできる」が伝わり、遊びながら探究心を高めています。

中央区

令和4年度開催行事



中央区支部は、コロナ禍のため定員を設け次の行事を行いました。市内見学～大通地区で札幌歴史めぐりを行いました(6月)。ドリーム号～バス2台で小樽天狗山へ、ロープウェイやスライダーに乗りました(10月)。育成者研修会～石屋製菓白い恋人パークでSDGsについて学びました(10月)。こどもの交流の日～午前・午後の2回開催、クリスマスアドベントカレンダー作りをしました(11月)。子どもまつり～午前・午後の2回開催で、大道芸を観てビンゴゲームで楽しみました(R5年2月)。

申し込みが多く、お断りした行事もありましたが、令和5年度は多くの子どもたちが参加できるように工夫して実施したいと思います。

(中央区支部 さっぽろっ子部 佐藤 一人)

厚別区

日程：令和4年7月31日(日)
会場：小野幌青少年キャンプ場

『わくわくデイキャンプ』



厚別区ではこれまで恒例だった夏の体験キャンプが中止となっていたのですが、なんとか子ども会活動の特徴でもある野外活動を実施したい!という思いのもと、デイキャンプを実施しました。当日は30℃を超える猛暑の中、参加者はテントの設営体験をはじめ、自分たちで起こした火を使ってマシュマロを焼いて食べてみたり、キャンプ場内を探検してみたりと、いまのルールの範囲でできることをめいっぱい楽しんでいました。

子どもたちが元気に過ごす様子を見ることができて、スタッフもパワーを分けてもらうことができた一日となりました。

(厚別区支部 さっぽろっ子部 西田 直美)

手稲区

日程：令和4年8月5日(金)
会場：手稲区民センター 視聴覚室

『子ども会学校』



コロナウイルス感染症への安全対策のもと、今年も午前と午後の2部制で人数制限を設け開催しました。「小枝を使って表札づくり」ということで、それぞれ思考を凝らし一生懸命に制作していました。ベースになる木板に小枝や松ぼっくり、どんぐりなどを使って、自分の名前や家族の名前を枝の曲がり部分を上手に工夫して表現していました。どんぐりに顔を書いたり折り紙で飾りを折ったり、カラフルなペンで直接絵を書いたり、世界にひとつだけの作品が出来上がりました。

とても真剣に作業していた子どもたちも、オリジナル作品を作り上げた達成感で、輝いた顔をしていました。

(手稲区支部 さっぽろっ子部 成田 一枝)

豊平区

日程：令和4年8月16日(火)
会場：豊平区民センター 1階和室いこい

『親子で工作「ハーバリウム」』



今回のハーバリウム工作は、親子参加で募集をかけ、参加者51名20家族にて実施。特にお父様の参加は、主催者側にとっても嬉しい驚きでした。材料は各種色とりどり(赤、青、黄、白、ピンク、オレンジ、緑等)のドライフラワーや、ドングリなどの木の実、ハーバリウム用のオイル、そしてピンです。ハーバリウムは、ピンに浸したドライフラワーが浮いてしまわないように、ゆっくり少しずつ時間をかけてオイルに浸し、仕上がりのデザインを想像しながら進めていくことが大切です。今回も皆さん根気よく進められて、とても個性豊かに仕上がったと思われます。子ども向けの行事と言いつつ、引率の大人の方々もドライフラワーを選ぶ段階から真剣で、お子さんと同じ目線で取り組まれ、完成品と一緒に並べていらして、大変喜んでいただけたことは、私たちも嬉しい思いで見守ることができました。

(豊平区支部 育成支援部 板東 徹子)

東区

日程：令和4年9月11日(日)

第39回

『さっぽろ・ひがしミステリーGO』



3年ぶりとなる「第39回さっぽろ・ひがしミステリーGO」が開催されました。「どこへ行く?」「何をやる?」かは、全て秘密のミステリー!到着してからのお楽しみ!今回の目的地は「小樽」参加者・育成者総勢83名で、午前はウォークラリー形式の小樽運河周辺の散策やおみやげの購入、グループで自分たちが食べたい昼食のお店を決めました。午後は天狗山へ移動し、晴天の中ジップラインやスライダーの体験を楽しみました。

初めは緊張していた子どもたちでしたが、次第に交流を深め、最後には「またね〜!」とたくさんの笑顔が溢れ、最高の仲間となりました。

(東区支部 さっぽろっ子部 嶋宮 誠哉)

北区

日程：令和4年9月25日(日)

会場：北区民センター

『北区子どもまつり』



センター内には縁日のようなコーナーや、ストラックアウト・イライラ棒・ダンボールビルド、手作り輪投げなどのアトラクションコーナーもあり、コロナ禍でお祭りを待ちわびていた子どもたちが、開場するとまもなく大行列になりました。運営側の想定を上回る参加者の数に、コロナ禍の3年間たくさんの子どもたちが待っていてくれたことを痛感しました。大混雑の中でしたが、たくさんの子どもたちの笑顔を見ることができ、お祭りの最後には持ち帰り専用のわたあめを購入したり、時間内に遊べなかった子どもたちへお菓子を配布し幕を閉じました。次年度は今年度の反省をいかし、更にとくさん子どもたちを楽しんでもらえるお祭りを開催したいと思います。

(北区支部 さっぽろっ子部 高山 嘉子)

白石区

日程：令和4年10月16日(日)

会場：白石区民センター

ゆめ

『子ども遊芽カーニバル』



3年ぶりに開催となりましたが、感染症対策のため内容は大きく刷新されました。会場内の5つの遊びコーナー(輪投げ、玉入れ、だるま落とし、ルーレット、ディスクゲッター)を巡る、スタンブラリー方式としました。

30分間隔で6ブロックに分けて参加者を募集し、会場内は上限50人を目途に入場制限をしました。当日の参加者は合計161人(子ども97人、大人64人)でした。

オープニングの時だけは入場制限をしましたが、全体を通してみるとゆったりと参加していただき、「楽しかった」「またやって欲しい」「もっと遊びたかった」との嬉しい声をいただきました。

(白石区支部 さっぽろっ子部 高橋 義弘)

西区

日程：令和4年10月30日(日)

会場：アグリ工房 まあぶ(深川市)

『深川アップルパイ作り』



私は今回アップルパイ作りをしてきました。りんごをいためる時の調味料はバターやさとう、シナモンなどでした。私は2回目のアップルパイ作りの参加だったからなのか、こうしたらどうなるのかな?と気になることがありました。私がいっさいにやってみたのは、ときたまごをパイ生地にたくさんぬった方が、カリッとするのか、ということです。たくさんぬってやいたものを食べてもらったら、おいしいと言われとてもうれしかったです。

りんごのしんを取る作業があったのですが、その時はまだ上手にしんを取れなかったのも、お手伝いしてもらいました。でも今は、家でリンゴのしんを取る練習をして、自分1人で取れるようになりました。これからも参加した時には、自分のできることをふやしていきたいです。

(宮丘小学校4年 越田 陽愛)

清田区

日程：令和4年11月19日(土)
会場：清田児童会館

工作教室

『ステンドグラスLEDライトを作ろう!』



23名の子どもたちが芳香剤の空き容器などに絵を描いたものに色を塗ってLEDろうそくを灯すライトを作りました。

絵の具の乾燥に時間がかかるので、事前に準備した絵の描いてあるボトルを選んで、ガラス絵の具を塗ってドライヤーで乾かしてもらいました。みんな作業の始まりから終わりまで集中して静かにもくもくと取り組み、自分で絵を描き加えたりする子もいて、それぞれすてきなステンドグラスライトができました。

ろうそくの灯りがガラス絵の具に透ける幻想的な雰囲気と素晴らしいできばえに、みんな満足そうに見ていました。

(清田区支部 さっぽろっ子部 寺門 多佳子)

南区

日程：令和5年1月15日(日)
会場：真駒内総合福祉センター

遊びの広場

『みんなでフラトンボ工作や遊びのコーナーをたのしもう!』



なかなかおさまらないコロナ禍の中、なんとか子どもたちを楽しませてあげたい!という思いで午前と午後に分けて、人数制限をして参加募集をしました。

カラフルなプラスチックの板を切り取って作るフラトンボ工作や遊

びのコーナーを用意しました。発泡スチロールの板を切り取り画びょうが張られたコースを風船でなぞる風船イライラ棒や、いろいろな形を四角や三角の板片で作るタングラムなど6種類の遊びのコーナーを用意し、参加者はコーナーにわかれて、それぞれ楽しんでくれたようです。たくさんの制約がある中、工夫を凝らして楽しい行事にできたと思います。

(南区支部 さっぽろっ子部 森 洋子)

新年度に向けて

コロナ禍で依然として厳しい環境の中、ウイズコロナを受け入れ、しっかりと感染対策を行いながら、各子ども会・支部事業を実施し、何かと不自由で辛い日々を過ごしている子どもたちに、楽しい思い出を作っていただいた育成者の皆様には、心よりお礼申し上げます。

また、委託事業・補助金事業のCoミドリの運営では、支部育成者皆様のご協力と職員さんの知恵の結集により、求められる成果を挙げることが出来ましたことに重ねてお礼申し上げます。

さて、昨年10月には「体験活動による子どもの成長・子育て支援を推進する議員連盟」が、100名を超える衆・参議員により結成されました。このことで、全子連が安定した経営を図ることができるとともに、これからの子ども会の役割が子ども会組織内の活動のみではなく、文部科学省が進める広く社会や、学校・企業が求める人材の育成となることが考えられます。これからの子ども会を考える

時、皆様には今までとは違った形の活動に、ご協力をお願いすることもあると思いますが何卒宜しくお願い致します。

公益社団法人 札幌市子ども会育成連合会 会長 田中 昭夫

赤い羽根
共同募金

『さっぽろっ子』は、共同募金会の協力により発行しています。

【発行】公益社団法人 札幌市子ども会育成連合会

札幌市中央区南1条東2丁目

大通バスセンタービル2号館2階

TEL 011-211-3015 FAX 011-272-3016

【発行者】会長 田中 昭夫

【編集者】さっぽろっ子部長 高橋 義弘

<https://sakkoren.or.jp/>

